



世界自然遺産のまち

 知床・羅臼町

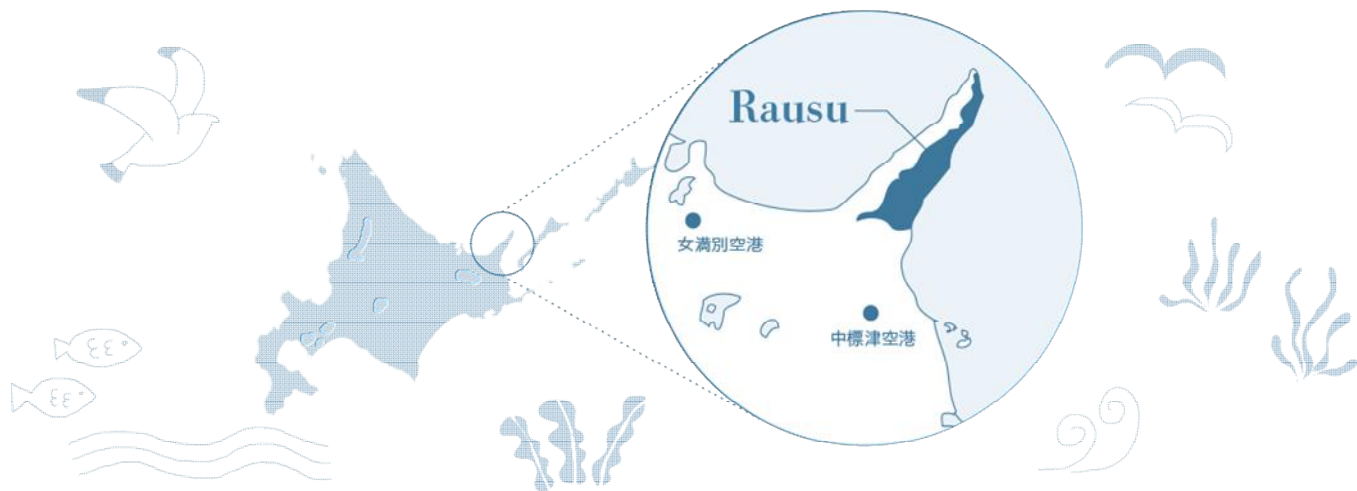
企業版ふるさと納税 ご提案資料

| | | | | |
|---------------|---------|-----|---|-----|
| 知床・羅臼町について | ・ ・ ・ ・ | P1 | ～ | P5 |
| 知床・羅臼町の課題と取組 | ・ ・ ・ ・ | P6 | ～ | P13 |
| 企業版ふるさと納税について | ・ ・ ・ ・ | P14 | ～ | P16 |
| 企業版ふるさと納税の活用例 | ・ ・ ・ ・ | P17 | ～ | P18 |

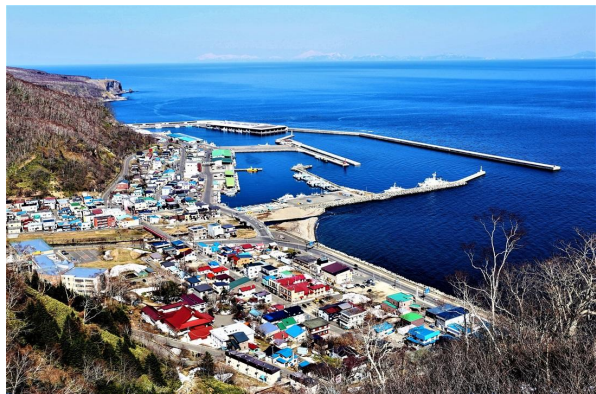
知床・羅臼町について

北海道最北東端、知床世界自然遺産を有する町「^{らうす}羅臼町」。

豊かな自然環境と、その恵みに支えられた「**漁業のまち**」として知られています。



写真で見る知床・羅臼町



市街地と羅臼漁港



知床らうす産業祭「羅来楽（ららら）」



知床峠山頂



知床連山と流氷



刺し網漁



サケ漁



知床羅臼ビジターセンター



海産物のBBQ



野生のヒグマ



シャチのダイブ



サケマスの上



羅臼昆布



知床・羅臼町の全体像



羅臼町では**4,087人**※1が暮らしており、以下の**4分野**でさまざまな**取り組み**が行われています。

※1：2026年3月末現在



産業

羅臼昆布・エゾバウフンウニ、ホッケ、ブリ等々、
令和5年度 水揚げ額90億円



観光

シャチやマッコウクジラなど大型鯨類が観光船で見る等々を目的とした
年50万人以上の観光客入込数※2、**約4万人の宿泊者数**

※2：コロナ禍は半減

スノーピークとキャンプ場運営等に関する包括連携協定※3
TaMa-Tec（株）などが新たな宿泊施設建設を発表※4

※3：令和3年度、※4：令和6年度



自然

平成17年に「**知床**」が日本に五カ所のみ存在する**世界自然遺産登録**
ゼロカーボンシティ宣言※5 **ネイチャーポジティブ宣言**※6

※5：令和3年度に宣言。2030年にCO2排出量68%削減、2050年カーボンニュートラルを目指す。

※6：令和7年度に宣言。生物多様性の保全と回復を軸に、自然と人が共に豊かになる地域づくりを目指す。



教育

海洋教育・水産教室、クマ学習・生態系学習、郷土の歴史等々を学ぶ
地域学「知床学※6**」を柱に中高一貫教育を推進**

※6：主な事業：ふるさと少年探検隊、知床kids、羅臼高校水産教室などふるさとを学ぶ事業を展開

羅臼町の資源（海洋深層水／温泉）

羅臼漁港で海洋深層水の取水施設を整備し、
海産物の衛生管理と鮮度保持に活用しています。



飲料水、塩、食品、化粧品等にも活用されています。
更なる利活用のアイデアを募集しています。

温泉井戸を掘削し、宿泊施設での利用に加えて、
公共施設での暖房等に活用しています。



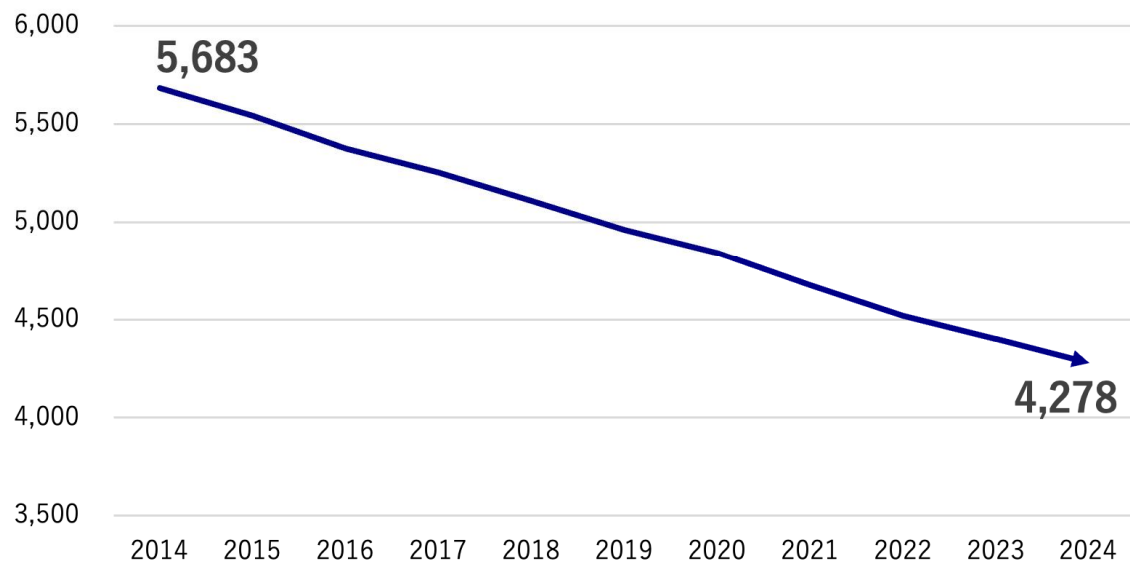
地熱発電や温泉熱の更なる利用拡大などを目指しており、ご賛同・ご協力をお願いします。

知床・羅臼町の課題①

基幹産業である漁業の低迷により、水産業をはじめ既存産業の事業縮小など経済の冷え込みが続き、事業者・求職者問わず当町での生活に先行きが見通せないため、町外に活路を求める人たちも多く、より一層、少子高齢化が進行する状況に陥っています。

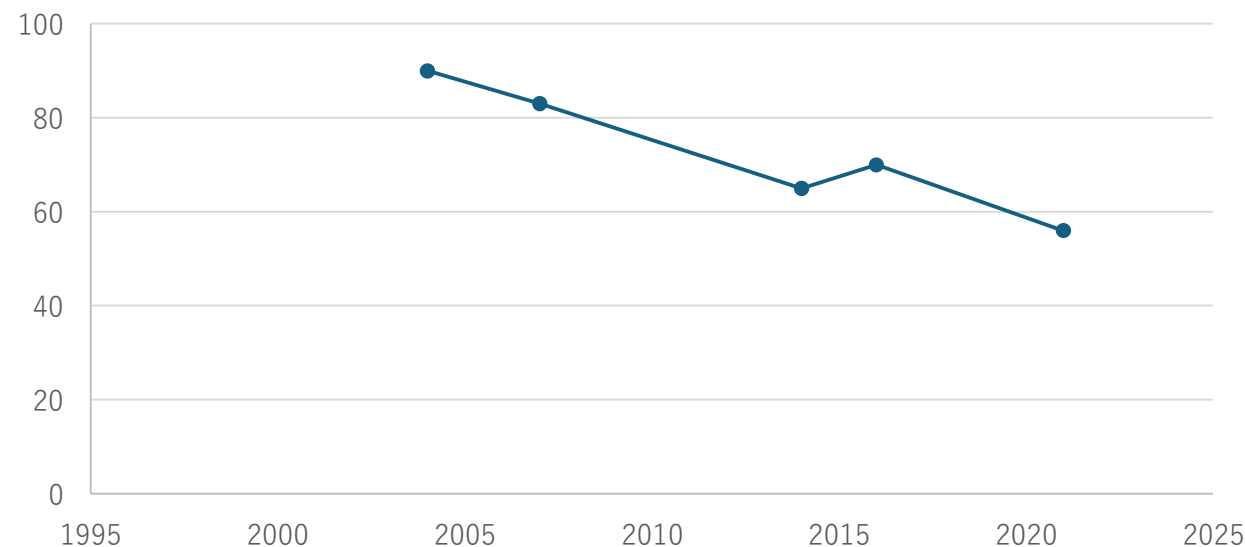
人口の流出は将来のまちづくり人材の消失でもあり、地域の不活性化により町民サービスの低下、当町に未来を託す転入者も減少しています。

羅臼町 総人口の推移



2014年5,683人 → 2024年4,278人
この10年間で1,405人減

羅臼町 商店数の推移



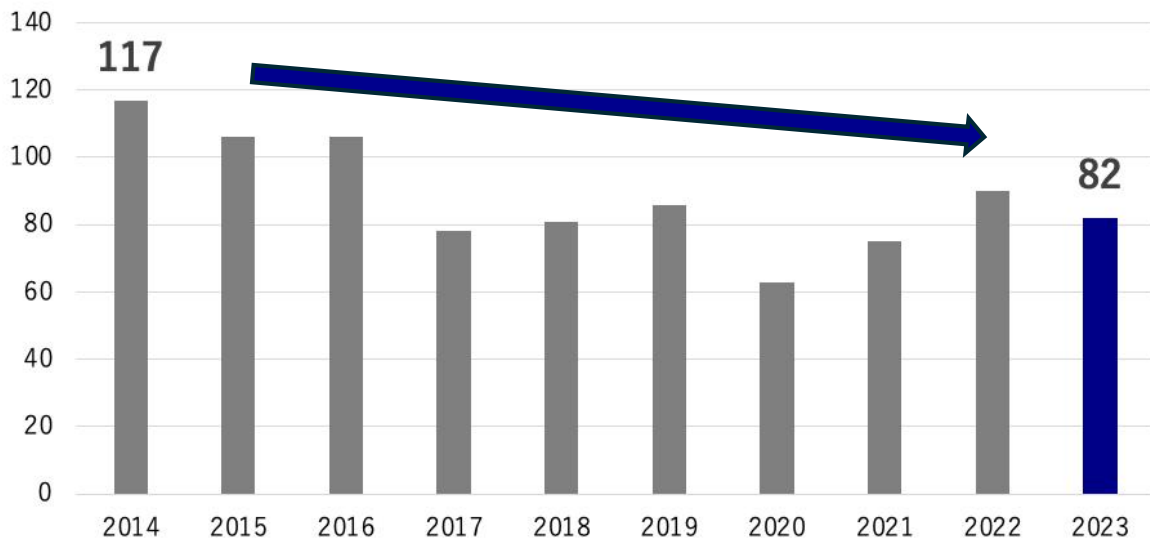
2004年90店 → 2021年56店
この17年間で34店減

知床・羅臼町の課題②

羅臼の海は、狭い海域に浅海～深海があるという特徴があり、豊かな海産物に恵まれています。一方で、近年は水揚げの落ち込み、海水温上昇などの課題があり、**水産業の発展に加えて、新たな産業振興に向けた取り組みが必要です。**

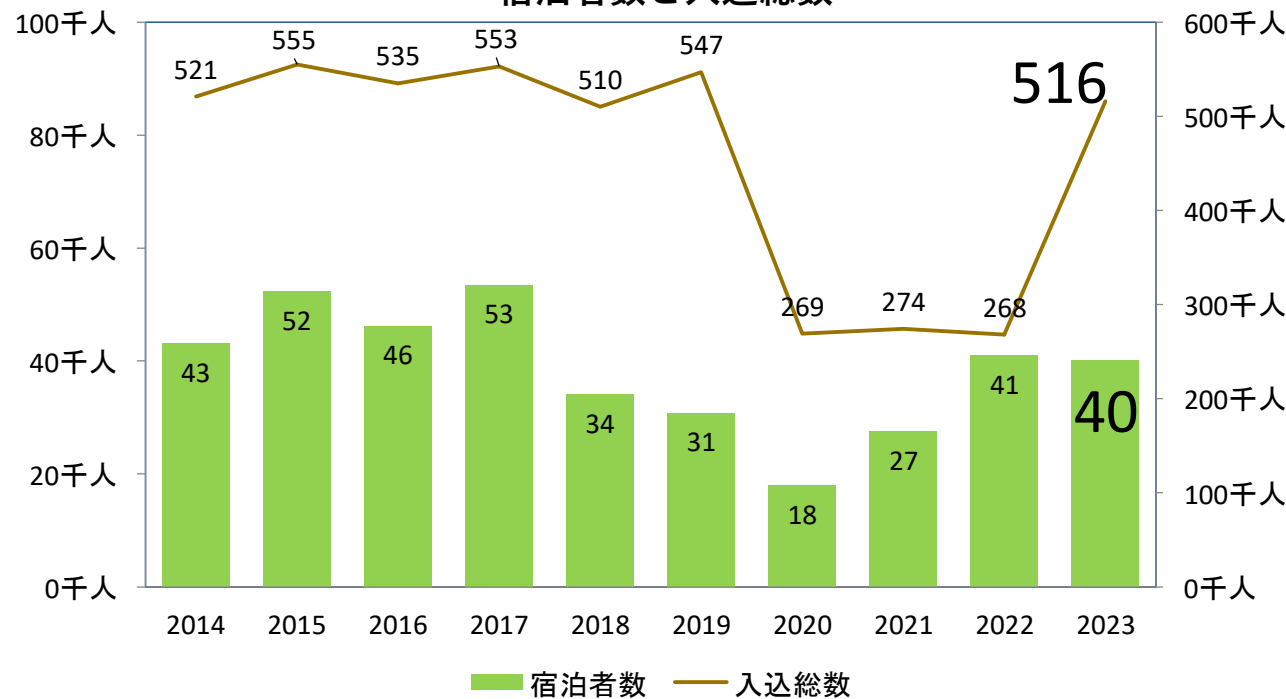
また、世界自然遺産の自然環境や豊かな海産物といった地域資源がありながらも、観光については、道の駅周辺を中心とした通過型にとどまり、魅力を十分に発信できていません。

羅臼町 主要魚種の水揚げの推移



1990年の253億円を境に急激に落ち込み
海水温上昇によりブリやサバなどが水揚げ

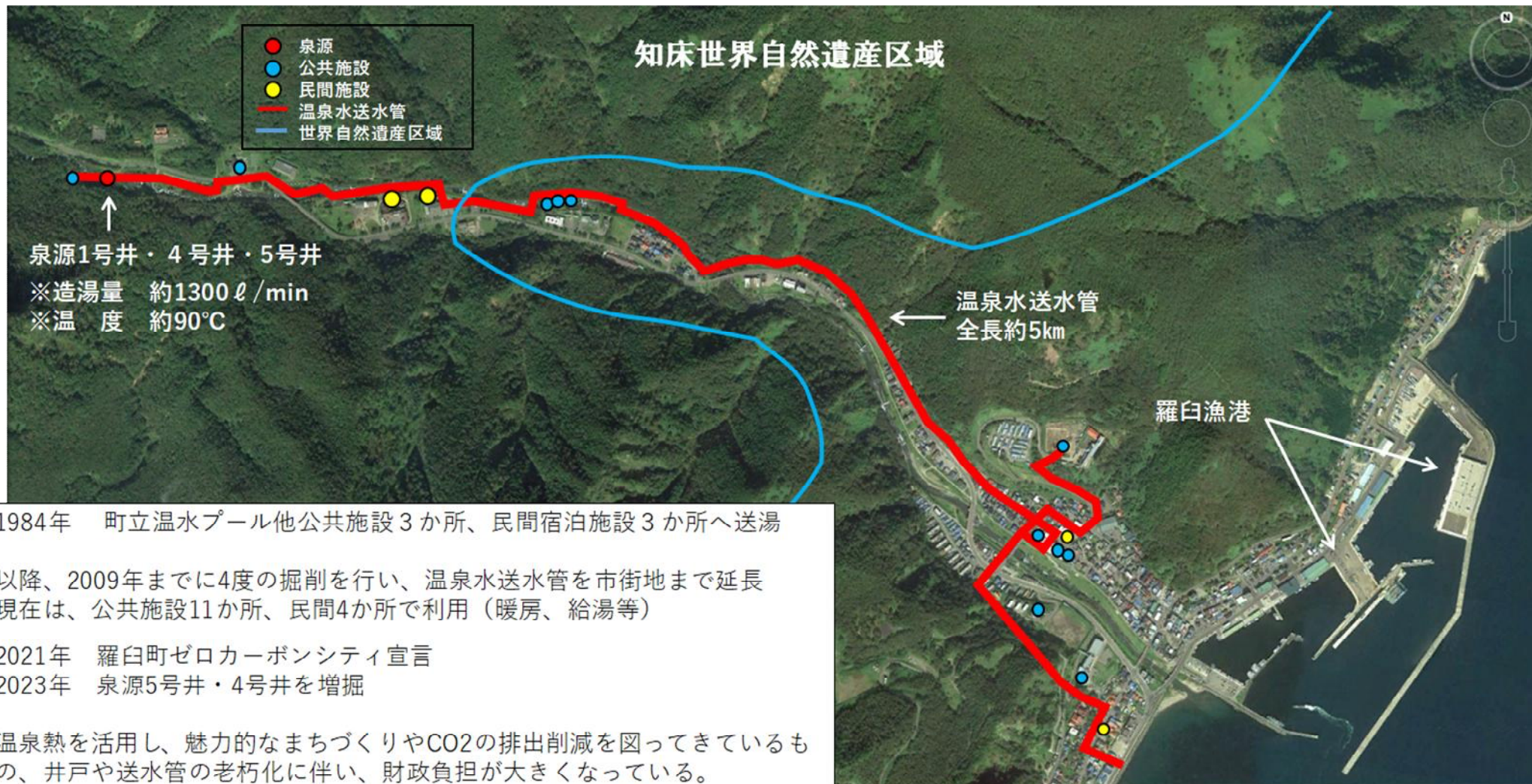
宿泊者数と入込総数



宿泊者数は入込総数の1/10程度に留まる

環境への取り組み①

1984年から温泉熱の活用を開始し、環境に配慮したまちづくりを推進してきました。
2030年までにCO₂排出量を68%削減し、2050年のカーボンニュートラル達成を目指しています。



環境への取り組み①

パートナー事業者とともに、既存の温泉井戸を活用した地熱発電所の新規導入と、温泉熱利用の更なる拡大に向けた取り組みを進めています。



<地熱発電所>

- ・ 500kw～1,000kw（一般家庭600～1,200軒程度）
- ・ CO2削減量約1,800～3,600t（年間）
- ・ 地域の自然環境と共生可能な発電システム
- ・ 再エネ電力の地域内供給
- ・ 収益の地域還元

<温泉熱利用の拡大>

- ・ 1,000～2,000L/min程度の温泉の新規利用
- ・ CO2削減量約4,500～9,000t（年間）
- ・ 地域関係者の燃料代等の負担軽減
- ・ 温泉や熱を活用した観光振興、産業振興

事業期間：2026～2029年度
事業費：約28億円（※羅臼町負担分のみ）

環境への取り組み②

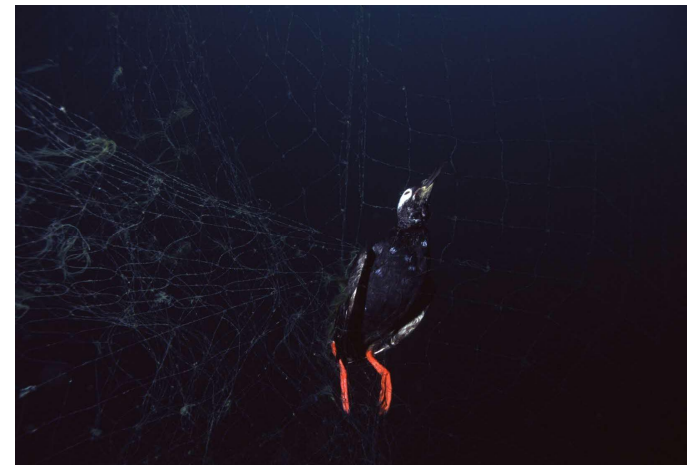
豊かな海を守るため、時化などによりやむを得ず流出してしまった海中の漁網などの回収に取り組んでいます。海中に放棄された漁網などは、ゴーストフィッシングを引き起こすため、世界中で問題となっています。



ダイバーによる回収作業



観光ダイバーの協力も得て回収



漁網による生態系への被害

教育への取り組み

中心市街地に複合型の子育て施設を整備することにより、子どもたちの放課後の居場所をつくとともに、子育て世代が各種支援を受けやすい環境を整備します。

複合型の子育て施設の整備



計画地：目梨郡羅臼町緑町301

既存小学校に幼稚園2園・
小学校2校を統合（R9年度）



子育て支援

事業期間：2026～2027年度
事業費：約4億円

観光への取り組み①

観光コンテンツや海産物等の魅力を国内外向けにプロモーションするとともに、重要な宿泊拠点である羅臼オートキャンプ場において、シャワーの供用開始などを実施し、観光消費額の増加などにつなげていきます。



羅臼オートキャンプ場



ホエール
ウォッチング



海産物

事業期間：2026～2028年度
事業費：約1億円

観光への取り組み②

パートナー事業者とともに、旅行者の受け入れ環境を整備することにより、雇用の創出をはじめとした地域課題の解決につなげていくことを目指しています。



ローカルカフェ、アクティビティカウンター、温泉などを併設したコミュニティホテルの検討



アクティビティの提供



- 観光・二次交通**
点在する観光地の周遊
- 路線バス**
路線バスの廃線後に導入
- コミュニティバス**
病院・買い物の移動手段(オンデマンド化)
- スクールバス**
統廃合された学校と自宅の移動

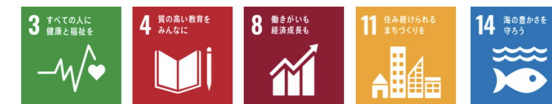
二次交通の提供

企業版ふるさと納税とは

羅臼町では、「羅臼町総合戦略推進計画」について企業版ふるさと納税制度を活用した寄附を募集しています。

いただいた寄附金は、羅臼町総合戦略推進計画に則り「生活環境の創生」「新しい経済の創生」「関係人口の拡大・向上」「インフラ整備と新技術の活用」の4つの視点で進める町の人口減少対策に活用させていただきます。

【戦略の基本となる SDGs 項目】



税額控除のイメージ

※国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合、法人関係税から税額控除する仕組みです。最大で寄附額の約9割が軽減されます。

損金参入による軽減効果
国税+地方税（通常の寄付）

約 3 割

法人住民税
法人税

約 4 割

法人事業税

約 2 割

企業負担

約 1 割

（例）1,000万円寄付いただくと、最大900万円の法人関係税が軽減！



(1) 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

- ✓ 魅力ある教育環境の整備を通じた、地域で活躍する人材の育成
- ✓ 多様な人々が活躍する地域社会の実現

(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい経済の創生

- ✓ 地域経済を支える漁業の活性化と高付加価値化
- ✓ 地域資源の高付加価値化の取組の強化

(3) 知床羅臼町の魅力を活かした関係人口の量的拡大・質的向上

- ✓ 移住・定住の更なる促進
- ✓ 関係人口の更なる拡大

(4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の活用

- ✓ 再生可能エネルギーを活用した企業誘致や新技術を活用したインフラ整備
- ✓ デジタル技術の利活用に向けた環境整備

寄付についての留意事項

- ・ 1回当たり10万円以上の寄附が対象です。
- ・ 寄附企業への経済的な見返りは禁止されています。

| | |
|----|---|
| OK | 寄附企業に対して、町から感謝状等を贈呈すること |
| OK | 町のホームページや広報紙等に、寄附を活用して実施している事業の紹介に併せて、寄附企業の名称を他の寄附者と並べて紹介すること |
| OK | 寄附を活用して整備した町の施設等に銘板等を設置し、寄附企業の名称を他の寄附者と並べて紹介すること |
| NG | 寄附を理由として、町から補助金を交付すること |
| NG | 寄附を理由として、町から他の法人の場合より低い金利での貸付けを行うこと |

- ・ 本社が羅臼町に所在する法人の寄附は、本制度の対象となりません。

寄付活用の事例①

(1) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい経済の創生

スノーピーク監修の下、羅臼町民が手作業で創った特別なアウトドア施設である「知床羅臼野遊びフィールド」において、宿泊される方々の満足度を更に向上させ、施設の魅力を高めるため、トイレやシャワーの整備を行いました。

(令和6年度)



寄付活用の事例②

(2) 知床羅臼町の魅力を活かした関係人口の量的拡大・質的向上

羅臼町の魅力ある環境を多くの方に知っていただき、移住・定住を推進するため、首都圏などで開催された移住イベントに出席し、知床・羅臼町の魅力をPRしたほか、「ちょっと暮らし住宅」を活用した就業体験付きの移住モニターの受け入れを行いました。(令和6年度)



